

## 中学校ま～るいテーブル会議 議事概要

開催日時 平成30年12月4日(火) 19:30～21:00

会 場 能楽の里文化交流会館2階 大会議室

### 1 開 会

### 2 あいさつ

教育長

本日は、PTA役員の方や学校関係者、行政関係者が集まり、学校の状況について情報共有をし、どのように子ども達の成長を支えていくかを考えていく場としたいと考えている。学校、保護者、行政、地域の関係者が話し合い良い方向に向かうことができればと思う。お話しいただいたことは、来年のスクールプランや教育行政の参考とさせていただきます。

### 3 自己紹介

### 4 意見交換

教育長

まず始めに、中学校から今年取り組むについて簡単にご紹介いただいてから、協議してまいりたいと思う。

校長

今年の生徒数についてですが、1年生が16人、2年生が7人、3年生が13人、合計36人となっている。方針としては「小規模の利点を活かして、小規模の弱点を克服する」教育を目指している。「個別型教育」というのは、生徒一人ひとりに最善の教育を目指していくという考え方である。小規模になってきているというのは大きな問題で、2年前の全生徒数は52名、5年前の全生徒数は73名で、1学校の生徒数で見るとこれはとても大きな変化である。現在の環境に合わせた、新しい考え方などを協議していくのに良い時期ではないかと思う。

学校の特徴としては、1小1中でこども園の幼児教育から小、中とこれまでどのように育ってきたのかということが分かりやすい。こども園、小、中の教員と一緒に勉強するような機会もよくある。今年重点的に行っていることとして、「どの生徒にも分かり易い授業」を大事にし、教員同士勉強し合ったりしている。また、命の教育も重点化し、

子どもがお互いに相談に乗りやすいようなやり方を実際に体験するような授業を講師を招いて行っている。地域や家庭とのつながりという部分では、「豊かな体験活動」ということで保護者との合同資源回収、能楽公演鑑賞、東京芝商との交流活動、陸上大会への全員参加、国体ボランティアなどを行っている。

課題として、部活動の運営がある。生徒数が減ってきているということ。また、全国的にも部活動ガイドラインにより部活動の活動時間等について考え直す動きが広まっている。是非、みなさんのご意見をお聞かせいただけたらと思う。

#### 教育長

それでは、学校が考えている課題ということで、部活動について協議していきたい。部活動のこれまでの変遷を話していただきたい。

#### 教頭

男子は野球と剣道、女子はバレーとテニス、男女とも入部できる吹奏楽と5つの部活動の期間がとても長く続いた。

#### 校長

5年前にバレーが、昨年剣道部がなくなった。現在は野球、テニス、吹奏楽の3つを基本にしている。今年の変化として、これまで全員入部制をとってきたが、サッカーや水泳で部活動並みの活動を既に行っている生徒がいるので、今年からは部活動に入らない生徒が3人いる。

#### 教育長

5部体制が長く続き、昨年からは3部体制ということだが、保護者のみなさんは部活動に対してどのような思いがあるか。

#### 委員

野球部も人数が減ってきてなくなってしまうと、男子に関しては吹奏楽しかなくなるのか。

#### 校長

個人競技の部活を持ったりすることも考えられるが、池田中学校はまだ数年間はそのまま維持できると思う。

#### 委員

人气的にはどうか。吹奏楽に入っている男子はいるのか。

校長

1年生で入っている生徒がいる。文化部がなく吹奏楽部しか入る部がないが、今は熱心にやっている。

委員

剣道部はなぜなくなったのか。人数が足りなくてなくなったのか。個人戦があるので、維持できたのかと思う。

教育長

今の3年生が小学5年生くらいの頃に、希望する部活動についてのアンケートを取った。その結果、剣道を希望する子がいなかったことで、廃部という方針をとったと聞いている。

委員

昨年、今後部活動を増やすことはないと聞いたが、今の話を聞いていると、個人競技などの部活を増やすということか。

校長

部活動が増えることはないので、野球がなくなってその代わりに何か一つ部活動ができるという選択肢になると思う。それが池田中学校にとって良いかどうかは分からない。

教頭

生徒数の変遷を見ると、男子の数は増えていくので野球部をなくすという選択は5～6年はないと思っている。生徒数だけで考えると、3部体制は維持できるかと思う。

委員

野球部にこだわっているのは、少年野球があるからか。

校長

そのことについては分からないので、違う観点から答えると、今ある部活をいきなり変えるより、続けるということを中心に考えているということである。

教頭

少年野球があるというのは、多少関係があると思う。

#### 委員

少年野球があるから野球部を残しているという感じがする。そうではなくて、男子や女子も個人で参加できる部活を考えてもらえると良いかと思う。全員入部制ではなくなったのは、なぜ今年からなのか。

#### 校長

部活動の時間数が問題になってきていて、放課後の時間に子どもがこれまで続けてきたことに、学校の活動がプラスされると、大きな負担になってしまう。また、部活動の理念として好きなことを続けるというのが一番大事なことである。この2点を踏まえている。

#### 委員

過去にもそのようなことがあったので、なぜ今のタイミングなのかと思った。

#### 校長

部活動の時間数についての全国的な動きも関係している。

#### 教頭

水泳をしている生徒も週5日練習をしているので、部活動に準ずる活動ということで、時代の流れもあるので今年から認めていこうということになった。

#### 教育長

学校の部活動以外の活動も認めるように変わってきたということか。

#### 校長

これ以上全員部活を続けるのは、いまの時代の流れなども考えると、非常に無理があると思う。

#### 委員

先生が部活動を指導するにあたって、専門的な競技でない場合、指導はどのようにされているのか。

#### 教頭

自分が行ってきた競技の顧問をすることもあれば、経験がない競技の顧問をすることもある。現在は、外部の指導者に専門的な指導をしてもらうことが広がってきている。現在、テニスと吹奏楽に関しては外部指導者、野球については経験者が就いているので、

3つ全てで専門的な指導ができていると思う。

委員

水泳をしている生徒は、大会出場は所属するクラブで出場していると思うが、中体連で池田中学校として出場する場合の教員の引率はあるのか。

校長

教員が付いている。

委員

運動が苦手な運動部に入りたいという子はいると思うが、運動部だけでなく何か他に増やしていてもいいかなと思う。池田分校でそば打ち部ができたが、道具を小中学校で利用してみるのはいかがでしょうか。

委員

以前、野球部が他の学校と合同でしていたが、他の部活を合同ではできないのか。既存の部活でしかできないことなのか。

校長

この間の中体連でも合同チームで出場するところがあったが、池田の場合は練習に通う手段がないので、現実的でないと思っている。いつでも活動できるというのが、部活動の大事な部分だと思う。

教頭

先般は、学校内の野球部以外の生徒に応援出場をしてもらった。

委員

そもそも部活動は何のためにやっているのか。

校長

子どもたちがやりたいことをやっ行って行こうとする自主的な活動として始まった。

委員

そもそもの主旨とずれてきているように感じるが。

校長

自主的な活動ということで、授業時間のように枠がないので、勝つためにたくさん練習を行い、楽しむために部活に入ったのについていけなくなるなど、様々な矛盾を抱えながらも、大事な活動ということで、これまで続けてきた。

教育長

ここに7～8年先の生徒数の推計があるが、部活動について今後どういう方向で進めていくべきなのか、お話しいただけたらと思う。

委員

ボルダリング施設もでき、指導者の方もいるので、そういうものを利用するのも一つの手かなと思う。

校長

素晴らしい施設があるので、利用できたらと思う。ただ、中体連などは出場できないが。

委員

自分の子供たちを見ていても、自分は何がやりたいのか分からないのかなと思う。昔は、勝てると楽しくてやっているような感じがあったが、今はただなんとなくやっているような感じがある。水泳やサッカーをしている子がいるという話があったが、今後入ってくる小学生に対して、何かスポーツなどしているのかアンケートをとって見ても良いのではないか。

委員

中学生を見ていると、学年によってやることが全く違うと感じる。

教育長

部活は1年から3年の縦のつながりがあるが、そのところはどうか。

校長

男子だから全員が野球をやりたいという時代ではなく、全くルール分からない子もいるでしょうから、なかなか難しい時代だと思う。

委員

たくさん部活がある中でやりたい事を選べるとか、強い部活があって興味がわくとか、

そういうことではなくただ部活をしなければいけないからやって完全燃焼せずに終わってしまうような寂しい感じになっている気がする。

校長

生徒たちはいい顔してやっているなという印象がある。得るものも大きいと思う。

委員

部活動で上下関係や礼儀などが培われる。

事務局

今の子ども達は、同じ部屋にいてもそれぞれが全く別のことをしていることがある。みんなで何かをしようという気持ちが薄れてきているのかも知れない。部活動は、みんなで同じ目標をもって一緒に何かをしようとする良い機会である。部活動だからできることということにも大人が目を向けなければならないと思う。子どものより良い放課後活動のためには、どのように考えていくべきなのか、お話ししていただきたい。

教育長

保護者のみなさんは、部活についてあった方が良いとお考えですか。

委員

団体行動ができる人間に育てていくためには、部活の活動は必要だなと感じる。人間関係などは将来就職したあとにも必要になってくると思う。部活動以外では学ぶことは難しいと思う。

委員

今年、部活動に入部せず水泳やサッカーをしている子がいるとのことであるが、それを見て来年度入学してくる子が、どんどん他の活動をしてしまうのではないか。

委員

なぜ男子ソフトテニス部は廃部になったのか。男女混合にすればよかったのではと思う。

委員

2人どうしてもテニスがしたいという男子生徒がいたことがあったが、結局全員野球部に入った。今でも、大会などで男子がテニスをしているのを見ると、男子テニス部があっても良いのではないかなと思う。

事務局

男女と一緒に活動する部活動もあるので、新たな方法があるかも知れない。

教頭

練習は一緒にできるが、大会に出る際にそれぞれ顧問が必要となる。練習試合などもそれぞれ分かれて活動することになると思う。

委員

バトミントンをやりたいという子も結構いたりする。

委員

私は子供達には部活はさせたい。三小校区では、こちらの子たちと関わることがなく、家に帰っても遊ぶ子がいない。そうなると、部活動での活動は大事だと思う。そこで人間関係や礼儀など学べたらいいと思う。子ども達もそれぞれ習い事をしていたり、やりたいことが色々だと思うので、その部分をうまく調整できたら良いと思う。

教育長

保護者の方や地域の方のご意見を多くいただいたが、他にないか。学校として何か聞きたいことはあるか。

校長

この会議のように、保護者や地域の方とざっくばらんに話ができる場がこれからもあるといいと思う。

委員

この会議に中学校の生徒会長など参加できると良いと思う。

校長

今回の話題であれば生徒の代表がいても良かったなと思う。子どもの意見も大事だと思う。

教育長

今回は部活のことで様々な意見をいただき、学校も参考になったと思う。部活動は自主的な活動ということで、子ども達の日線で考えるとやりたいことをやりたいというのが1番の希望ではないかと思う。現状は、その希望を完全に叶えることは難しくなって



いる。その中でも少しずつ選択肢は広がってきたのではないか。部活動で、男女別の競技についてやクライミング施設の利用など、様々な意見をいただいた。本日いただいた意見を参考にしながら、今後の部活動を考えていきたいと思う。本日はありがとうございました。